

2016年度 通期決算説明会

－ 2016年1月～12月 －

2017年2月15日

株式会社 **CAC Holdings**

- I . 2016年度決算概況
- II . 中期経営戦略進捗と
2017年度の取組
- III . 2017年度業績予想

I . 2016年度決算概況

連結決算概要（P/L）前年度比

単位：百万円

	2015年度	2016年度	前年度比	
			増減額	増減率
売上高	52,105	52,521	+415	+0.8%
売上総利益	9,790	10,479	+689	+7.0%
(対売上比)	18.8%	20.0%		
販管費	8,581	9,277	+696	+8.1%
営業利益	1,209	1,202	▲6	▲0.6%
(対売上比)	2.3%	2.3%		
経常利益	1,080	937	▲143	▲13.3%
(対売上比)	2.1%	1.8%		
特別利益	1,086	3,701	+2,614	+240.6%
特別損失	1,406	693	▲712	▲50.7%
当期純利益	▲142	2,039	+2,181	—
(対売上比)	—	3.9%		

売上高：医薬品開発支援サービス（CRO）、新規連結が寄与

営業利益：AFLが販管費減となったものの、
国内システム構築、Sierra Solutions、CROが減益

経常利益：円高による営業外費用の増加

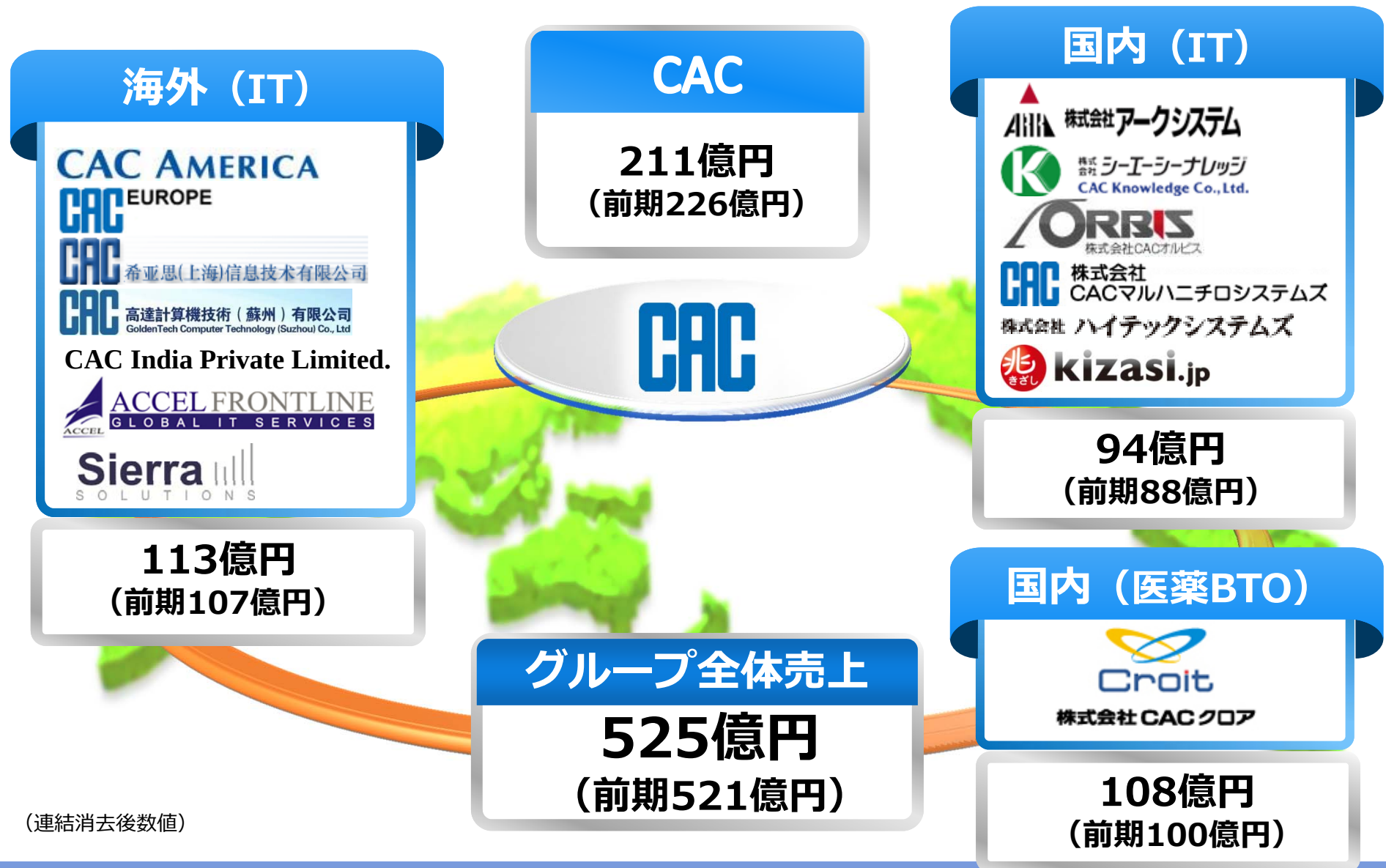
当期純利益：投資有価証券売却益計上

連結決算概要（P/L）業績予想比

単位：百万円

	業績予想	実績	予想比較	
			増減額	増減率
売上高	53,500	52,521	▲978	▲1.8%
営業利益	1,250	1,202	▲47	▲3.8%
（対売上比）	2.3%	2.3%		
経常利益	950	937	▲12	▲1.4%
（対売上比）	1.8%	1.8%		
当期純利益	2,100	2,039	▲60	▲2.9%
（対売上比）	3.9%	3.9%		

2016年度 グループ売上高



サービス別売上高と営業利益（連結）

売上高

単位：百万円

	2015年度		2016年度		増減	
	金額	構成比	金額	構成比	金額	増減率
構 築	23,339	44.8%	22,764	43.3%	▲575	▲2.5%
運用管理	17,895	34.3%	17,950	34.2%	+54	+0.3%
BPO/BTO	10,870	20.9%	11,807	22.5%	+936	+8.6%
合計	52,105	100.0%	52,521	100.0%	+415	+0.8%

営業利益

	金額	利益率	金額	利益率	金額	増減率
構 築	1,001	4.3%	545	2.4%	▲ 455	▲45.5%
運用管理	▲ 187	—	279	1.6%	+467	—
BPO/BTO	395	3.6%	377	3.2%	▲ 18	▲4.7%
合計	1,209	2.3%	1,202	2.3%	▲ 6	▲0.6%

業種別売上高（連結）

単位：百万円

	2015年度		2016年度		増減	
	金額	構成比	金額	構成比	金額	増減率
金融	8,326	16.0%	7,224	13.8%	▲1,102	▲13.2%
信託	4,550	8.7%	4,237	8.1%	▲312	▲6.9%
医薬	15,209	29.2%	17,067	32.5%	+1,858	+12.2%
食品	4,215	8.1%	3,853	7.3%	▲361	▲8.6%
製造	3,386	6.5%	3,096	5.9%	▲289	▲8.5%
サービス他	16,418	31.5%	17,042	32.4%	+623	+3.8%
合計	52,105	100.0%	52,521	100.0%	+415	+0.8%

受注・受注残の状況（連結）

■ 受注高

単位：百万円

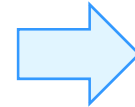
	2015年	2016年	増減	
構 築	23,039	22,017	▲1,022	▲4.4%
運用管理	18,261	17,739	▲522	▲2.9%
BPO・BTO	14,028	11,171	▲2,856	▲20.4%
金融	8,193	6,697	▲1,495	▲18.3%
信託	4,333	4,352	+18	+0.4%
医薬	18,448	15,179	▲3,269	▲17.7%
食品	4,629	3,411	▲1,218	▲26.3%
製造	3,264	3,249	▲15	▲0.5%
サービス他	16,460	18,038	+1,578	+9.6%
合 計	55,330	50,928	▲4,402	▲8.0%
受注残高	18,478	16,907	▲1,571	▲8.5%

Ⅱ． 中期経営戦略進捗と 2017年度の取組

2015～17年度 中期経営戦略の進捗

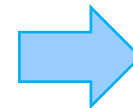
2016年度の進捗

新主流技術の追求
新事業領域へのチャレンジ



- Affectiva, Inc.等への出資、日本での代理店契約締結
- イノベーションスペース設置

BPO付加価値増大
All in AZAREA



- みくまり
○ 『Micmari』の事業拡大
- AZAREA利用構築案件の拡大

アジア軸でのグローバル支援体制活用
グループ横断的戦略による企業力の強化



- グループ間の連携強化
- 次世代グローバルリーダーの育成

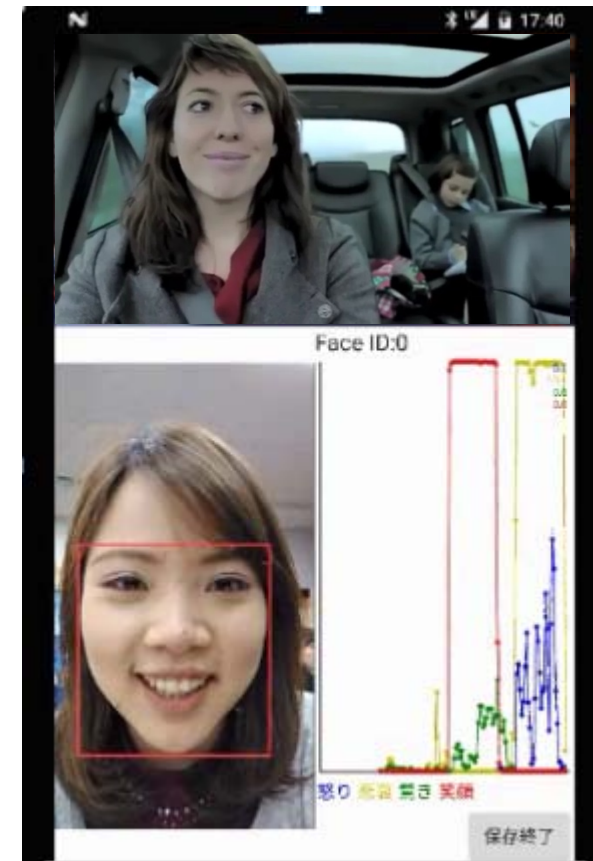
感情認識AI Affectivaの事業展開

シーエーシーが日本初の
代理店契約を締結。

積極的な提案活動を実施中。

- ・ 放送局番組編集での活用
- ・ 広告会社や調査会社向けの
動画視聴分析
- ・ 当社グループの各種IoT技術や
ロボットなどを組み合わせた
商業施設向けソリューションの開発

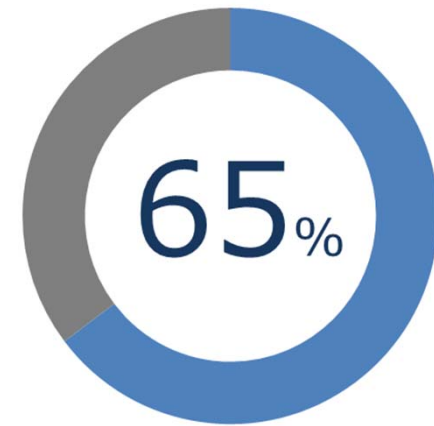
スマートフォン上での
CM視聴者の感情分析



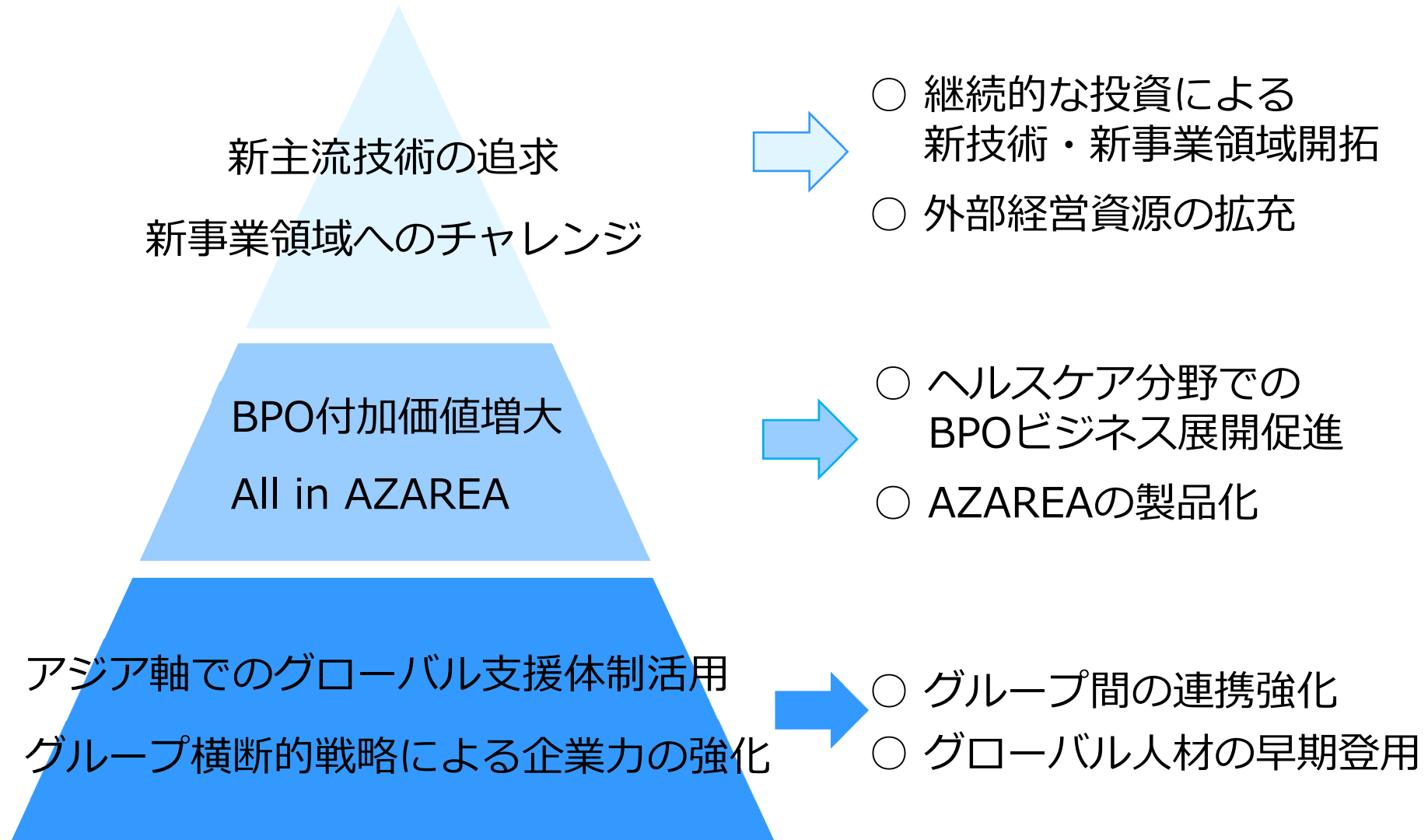
グローバル ～人材～

- ・グループ全体で約65%、約3,700名が外国籍社員
日本国内グループ会社には60名の外国籍社員が在籍
- ・国内及び海外グループ会社からの選抜人材を集め、
英語ベースの研修プログラムを海外で開催、
最終成果発表を東京で実施
- ・日本人社員の英語力強化継続

外国籍社員の割合



2017年度の取組み



プロダクト販売の推進



- AZAREAは商品化フェーズへ移行
社内利用の開発ツールからパッケージ製品へ
早い安いうまい
- Micmari（年金管理パッケージ・サービス）の販売体制強化

AZAREA（高速開発ツール）
システム構築/運用事業の領域における当社グループの知財を形式知化したものの総称

グローバル協業体制の強化

- ・ グループ会社のソリューションや製品の相互販売
- ・ 金融グローバルデリバリ体制の推進
- ・ アジアの介護ビジネスとの協業
- ・ 企業年金制度のアジア輸出



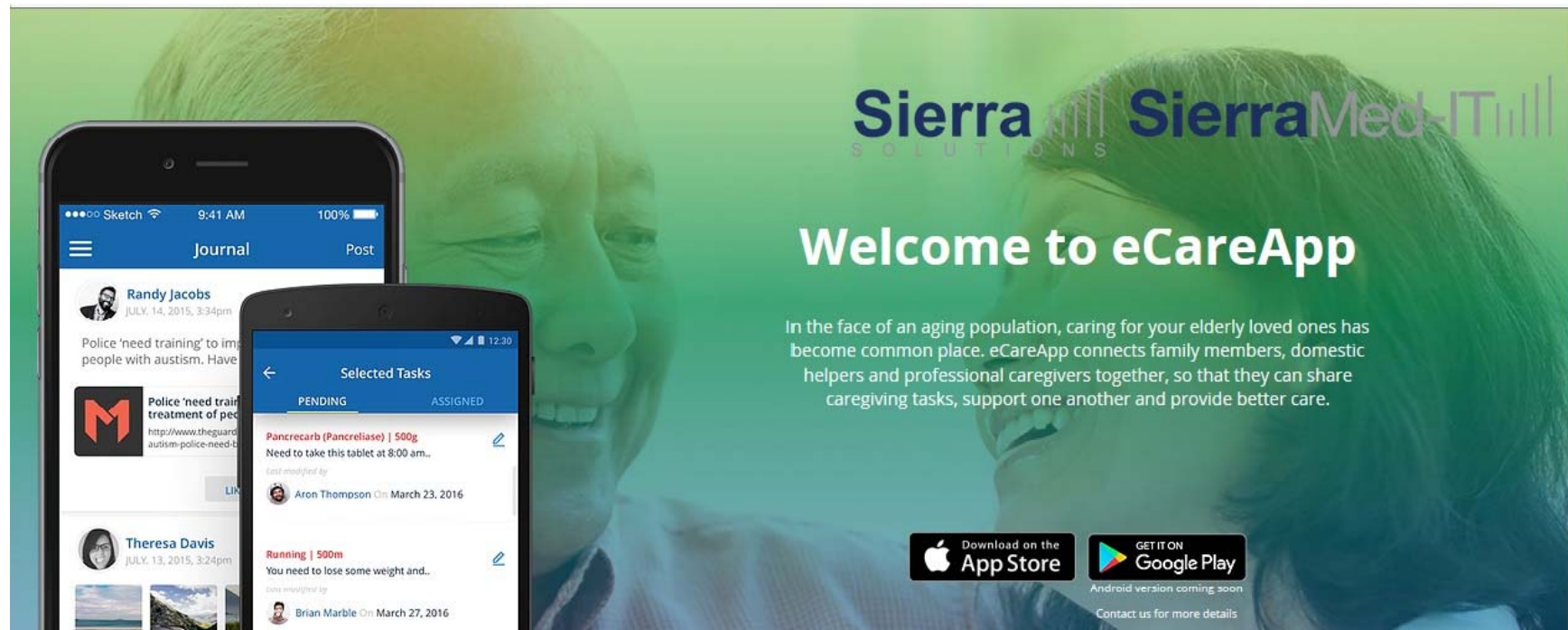
➡ グローバルビジネス拡大を図る

グローバル協業体制の強化

Sierra Solutions

高齢者を自宅介護中の家族に向けたモバイルアプリを開発

➡ 高齢化社会は世界共通の課題
日本をはじめ、グローバル市場へ展開予定



グローバル協業体制の強化

Accel Frontline Limited

ADAS（先進運転支援システム）分野での実績

- ・ 膨大なシステム開発負荷を軽減するため、自動車メーカーは車載システム標準「AUTOSAR」へ移行
- ・ 一方、日本ではAUTOSAR技術者が不足

AUTOSAR実績があるAFLとCACが連携し自動車メーカーへ参入

➡ ADAS分野のプレゼンス確立を目指す

Ⅲ. 2017年度業績予想

2017年度業績予想

単位：百万円

	2016年度 実績	2017年度 予想	前年度比	
			増減額	増減率
売上高	52,521	54,000	+ 1,478	+2.8%
営業利益	1,202	1,800	+597	+49.7%
(対売上比)	2.3%	3.3%		
経常利益	937	1,500	+562	+60.1%
(対売上比)	1.8%	2.8%		
当期純利益	2,039	1,100	▲ 939	▲46.1%
(対売上比)	3.9%	2.0%		
配当（普通）	32円	36円	+4円	
（記念）	8円	—	▲8円	
配当合計	40円	36円	▲4円	
	(配当性向：37.9%)	(配当性向：60.3%)		

【参考】 下期主要ニュース(1/2)

7月7日	CAC、感情認識AI市場をリードする米国Affectiva社と国内初の販売代理店契約を締結 CAC Holdingsが5月に出資を行ったAffectiva社とCACが日本国内初の販売代理店契約を締結し、同社のサービスとソフトウェアの販売を開始しました。製品開発、教育、人材サービスなどの分野で感情認識AI活用への積極的な提案を行うとともに、Affectiva社のソフトを組み込んだ自社サービスの開発、ソーシャルロボット事業での活用にも取り組みます。
8月5日	アークシステム、「Pepper」へ搭載する旅行販売用接客アプリを開発 アークシステムは、ジェイアイ傷害火災保険株式会社と共同で、人型ロボット「Pepper（ペッパー）」に搭載する旅行保険販売用オリジナル接客アプリを開発しました。本アプリが搭載された「Pepper」は2016年8月3日より保険代理店に試験配備され、来店されたお客様へ旅行保険のサービス説明や保険のご提案をします。
9月9日	CAC、「IBM Watson エコシステムプログラム」のテクノロジーパートナーに選定 IBM Watsonは、コグニティブ・コンピューティング（人間のように経験を通じて学習するといった情報処理能力を備える）を具現化する代表的なプラットフォームです。今後、医薬分野での豊富な業務知識とWatsonテクノロジーを組み合わせ、製薬企業などのビジネス革新を支援していきます。
9月27日	CAC、製薬企業と医療従事者を繋ぐ双方向コミュニケーションサービスを提供 CACは製薬企業と医療従事者の双方向コミュニケーションサービスを開発、提供を開始しました。今後も、新ソリューションの開発により、同領域における製薬企業の活動の進化を支えてまいります。

【参考】 下期主要ニュース(2/2)

10月3日	CAC、米国IPsoft社と提携、IT運用自動化サービスを開始 CACは、人工知能（AI）および統合IT運用管理分野を主導するIPsoft Inc. と提携し、同社の統合IT運用管理基盤「IPcenter」を活用したIT運用自動化サービス「AZAREA-AUTONOMICS」の提供を開始しました。正確かつ迅速なオペレーションが求められる運用業務のさらなるコスト低減を、従来よりも広範囲での運用自動化によって実現し、人手による運用の極小化を支援します。
11月 8 日	アークシステム、「まるごとおまかせZabbix」の提供 アークシステムは、Zabbix Japan LLCが提供するオープンソースの監視ソフトウェア『Zabbix』を低価格・短納期で構築するためのサービスと、きめの細かいサポートを行うための保守サービスを集約した、「まるごとおまかせZabbix」の提供を開始しました。アークシステムはこれまでもZabbixをはじめ他の監視製品をベースにした監視システムの構築、運用についての豊富な実績があり、これまで個別に構築サービスなどを行っていたものをメニューとして体系化しました。これによりスピーディーかつ低価格なサービスの提供が可能となり、新しく監視を始めるお客様も環境構築がしやすくなります。
12月2日	CACグループ、「東京都スポーツ推進企業」に認定 CACグループは障がい者スポーツ「ボッチャ」への支援が評価され、東京都オリンピック・パラリンピック準備局が実施している「東京都スポーツ推進企業認定制度」において、「平成28年度東京都スポーツ推進企業」の認定を受けました。今後も、一般社団法人日本ボッチャ協会のスペシャルパートナーとして、「ボッチャ」を、より多くの方々に知ってもらうことを目的に活動を実施します。
12月7日	CAC、ボッチャ競技普及に向けて「ボッチャメジャー」を開発 CACはボッチャ競技普及に向け、ボッチャボール間の距離を測定するAndroidアプリ「（仮称）ボッチャメジャー（特許出願中）」を開発しました。これにより、競技終盤に課題となるボッチャボール間の距離を正確に計測する時間の短縮を実現します。



株式会社 CAC Holdings

経営管理部 広報IR

TEL : 03-6667-8010 E-mail : prir@cac.co.jp

<http://www.cac-holdings.com/>

CACグループは、障がい者スポーツ「ボッチャ」の普及・発展をお手伝いしています

